

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. <2月12日開催:参加無料>
グリーンロジスティクスチェックリスト調査 結果報告会のご案内
(ロジスティクス環境会議)
2. 「環境にやさしい企業行動調査」の結果について(環境省)
3. 第5回グリーン物流基礎コースのご案内(JILS)
4. 全日本物流改善事例大会2009 発表者募集中(JILS)



- 【2月12日開催:参加無料】
グリーンロジスティクスチェックリスト調査 結果報告会のご案内
(ロジスティクス環境会議)



ロジスティクス環境会議では、物流・ロジスティクスに携わる企業・部門が、環境問題等に対応するために取り組むべき項目を整理した「グリーンロジスティクスチェックリスト」を策定するとともに、本チェックリストを基にした調査の実施、さらには回答企業に対して自社の取組度合いが把握できる「簡易診断結果」の作成・送付といった活動を進めております。

今回、本報告会では、本チェックリストそのものの紹介とともに、調査結果の報告、さらにはチェックリストの活用方法を広く情報提供することにより、環境負荷低減とコスト削減の一助としていただくことを目的として開催いたします。

皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

■日時 2009年2月12日(木) 14:30-16:30

■会場 国際ファッションセンター(KFC) 3F
「KFC Hall Annex」
(東京都墨田区横綱1-6-1)

■参加料 無料

■定員 120名

■プログラム

14:30~14:35

[開会]

矢野 裕児 氏

(流通経済大学 流通情報学部 教授)

(CGL グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG 幹事)

14:35~15:00

[報告]

「グリーンロジスティクスチェックリスト調査結果の概要」

栗原 純一

(社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター)

15:00~16:25

[パネルディスカッション]
「グリーンロジスティクスチェックリスト活用のすすめ」

<コーディネーター>

北條 英

(社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 主任研究員)

<パネリスト>

矢野 裕児 氏

(流通経済大学 流通情報学部 教授

(CGL グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG 幹事))

菅田 勝 氏

(リコーロジスティクス株式会社 クオリティー(KAIZEN)アドバイザー
株式会社ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役

(CGL グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG 幹事))

上田 詔俊 氏

(鴻池運輸株式会社 環境部 課長)

堀口 英雄 氏

(東芝物流株式会社 品質・環境管理部 参与

(CGL グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG))

16:25~16:30

[閉会]

申込方法等の詳細は下記URLをご参照下さい。(PDFファイル:200KB)

<http://www.logistics.or.jp/green/report/pdf/090212.pdf>

【問い合わせ先】

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター

栗原、武藤

TEL:03-5484-4021

メール: greenlogi@logistics.or.jp

*なお、本メールに返信いただきましても、受付できませんのでご了承下さい。

★

「環境にやさしい企業行動調査」の結果について(環境省)

★

環境省は、このたび「環境にやさしい企業行動調査」の平成19年度の調査結果を公表いたしました。

調査結果の概要は下記のとおりです。

(1)環境に関する考え方、取組内容及び環境マネジメントへの取組状況

環境への取組と企業活動のあり方については、社会貢献も含め、「企業の社会的責任の一つである」と考えている企業等が82.6%となり、前年度調査結果(81.9%)と同様、調査開始以来最も高くなっている。

また、環境に関する経営方針を制定している企業は76.2%、環境保全のための部署・担当者の設置をしている企業は86.4%と高い割合を示している。

(2) 子会社との関係における環境配慮の取組状況

子会社に対して自社の環境方針と合致するような環境配慮の取組を指導又は要請しているかについては、「実施している」と回答した企業等の割合が48.4%と最も高く、また、「主要な子会社のみ実施している」の16.0%と合わせると64.4%となり、約3分の2の企業が何らかの形で実施していることになる。

(3) 環境に関する情報の公開、環境報告書等の作成・公表等の取組状況

環境に関するデータ、取組等の環境情報の公開状況については、「一般に公開している」と回答した企業等の割合が49.9%と最も高いものの、逆に公開していないと回答した企業も41.6%と高い割合になっている。

また、環境報告書については、作成・公表している企業等が35.9%、1,011社と1,000社を超えたものの、前年度調査の37.8%、1,049社に比べ若干減少している。

環境会計についても、「既に導入している」と回答した企業等が27.0%、761社と、前年度調査の29.5%、819社に比べ減少している。

(4) 地球温暖化防止対策に関する取組状況

地球温暖化防止対策については、「方針を定め、取組を行っている」が54.6%と最も高くなっている。また、「方針は定めていないが、取組は行っている」の33.5%と合わせると、全体の9割近くの企業で何らかの地球温暖化防止対策を行っている。

詳細は下記環境省ホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10608>

★

環境負荷低減施策の基礎知識を3日間で体系的に学ぶ

■ 第5回グリーン物流基礎コース／東京 ■

会期：2009年2月3日・13日・26日(3日間)

★

上述の「環境にやさしい企業行動調査」結果より、

①自社における取組、②子会社、関係会社含めた取組の重要性をあらためて認識できるかと思えます。

加えて、物流・ロジスティクス分野の特長としては、皆様ご存知のとおり「荷主企業と物流企業の連携」が重要であります。そのためには、係長や担当者においても、取引先の担当者等との意見交換や簡単な提案ができるだけの基礎知識の習得が不可欠と考えられます。

そこで、JILSでは、物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基礎知識を体系的に学び、基本的な環境負荷低減の計画立案、実践ができる人材の育成を目的とした「第5回グリーン物流基礎コース」を2月3日(火)より開講いたします。

具体的に、本コースは、物流・ロジスティクス分野における環境問題全般と、「輸配送」、「包装」、「静脈物流と廃棄物削減」に関する環境負荷低減施策の基本的な項目について、理論と実務の両面から学ぶことができます。

この機会に関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【会 期】2009年2月3日(火)、13日(金)、26日(木)

【会 場】日本教育会館 707会議室(東京都千代田区)

【定 員】50名

【対 象】物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策に取り組む方で、基本的な知識を必要とされる係長・主任・スタッフの方々や、新任担当者・環境部門担当者の方々

【参加料】84,000円／JILS会員、99,750円／JILS会員外(いずれも税込)

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士の資格

取得者には優待割引があります。

詳細はパンフレットの申込規定をご覧ください。

【詳細パンフレット】下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#glbssc>

【問合せ先】本部 人材教育部 TEL. 03-5484-4021

★

全日本物流改善事例大会2009 発表者募集中

(応募締切:2009年1月16日)

★

全日本物流改善事例大会とは、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。現在、2009年4月に開催いたします「全日本物流改善事例大会2009」での発表者を募集しております。身近な工夫や、さりげない努力、小集団活動による改善の成果を気軽にご応募ください。

なお、発表いただく改善対象領域の範囲により、「Ⅰ. 物流業務部門」と「Ⅱ. 物流部門」の2つの部門エントリー方式となっております。応募事例の中から選考された「優秀事例」は、全日本物流改善事例大会2009にて発表いただき、特に優れた内容には、実行委員会で審査のうえ、2つの部門それぞれに「物流合理化賞」が贈られます。

ここ数年、環境負荷低減につながる物流現場改善事例等の応募も増加しております。環境会議メンバー企業の皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

詳細は、下記URLをご参照下さい。

www.logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2009_hb.html

これまでの物流合理化賞受賞企業は下記URLをご参照下さい。

<http://www.logistics.or.jp/fukyu/prize/gourika.html>

*****CGLNEWS Ⅲ 配信について*****

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元:社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は:cgl@logistics.or.jp

(C)CGL NEWS All Rights Reserved.
